

# わらび WARABI

# 市議会

# だより

No. **215**  
2021・9

編集

蕨市議会広報広聴委員会  
TEL／048-433-7733  
FAX／048-432-7991  
Eメールアドレス  
gikai@city.warabi.saitama.jp



※写真は現行の救急車です



## 目次

正副議長を新たに選出 議会の構成が変わりました	P 2
6月定例会の概要	P 3
頼高市長のあったか市政を問う	P 4
9月定例会日程(予定)・編集後記	P12

今回の表紙は、9月9日「救急の日」にちなみまして、市民の命を守る救急車と救急隊の皆さんの写真です。市議会では、7月臨時会において、高規格救急車の契約を締結する議案を可決しました。契約金額は、約3,333万円で、市民の方からの寄附を活用しています。これにより、市の救急車は1台増えて、冬からは4台の体制となります。体制の強化を図り、引き続き市民の安全・安心につながるまちづくりを目指します。



# 7月臨時会 正副議長を新たに選出 新たな構成で市政の課題に取り組みます！

7月臨時会は、7月26日から28日までの3日間の会期で開催され、3件の市長提出議案を可決・同意するとともに、前川やすえ議長、大石圭子副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長に保谷武氏、副議長に大石幸一氏を選出しました。さらに、委員会や一部事務組合議会においても、任期満了などにより一部を再編しました。選挙結果や再編された新たな市議会の構成は以下のとおりです。

## 正副議長就任あいさつ



議長  
保谷 武



副議長  
大石 幸一

市民の皆様におかれましては、日頃より市議会に對しまして温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、私たちは議長並びに副議長の要職を務めさせていただくことになりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の蔓延は、市民生活や地域経済に多大な影響を及ぼし、市民の皆様には大変なご苦労をおかけしております。市議会では、市民の皆様が健康で安心した社会生活を送るための施策の推進を図るとともに、二元代表制の一翼を担う機関として、行政と厳しく向き合いながら、市民の声を市政に反映し、市民生活の向上に寄与することで、市民の皆様の信頼と負託に応えられるよう努めていく所存でございます。

今後とも、市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

### 一部事務組合

#### 蕨戸田衛生センター組合議会

武下 涼 宮下 奈美  
中野たかゆき 古川 歩  
鈴木 智 大石 圭子  
保谷 武 根本 浩  
三輪かずよし 前川やすえ

#### 戸田競艇企業団議会

今井 陽子 本田てい子  
榎本 和孝 小林 利規  
山脇 紀子 一関 和一  
池上 智康 大石 幸一

### 広報広聴委員会

◎古川 歩 ○宮下 奈美  
中野たかゆき 今井 陽子  
榎本 和孝 根本 浩  
保谷 武 大石 幸一

### 常任委員会

#### 総務常任委員会

◎大石 圭子 ○三輪かずよし  
古川 歩 鈴木 智  
榎本 和孝 大石 幸一

#### 環境福祉経済常任委員会

◎山脇 紀子 ○今井 陽子  
武下 涼 小林 利規  
根本 浩 池上 智康

#### 教育まちづくり常任委員会

◎一関 和一 ○宮下 奈美  
中野たかゆき 本田てい子  
保谷 武 前川やすえ

#### 予算決算常任委員会

◎大石 幸一 ○池上 智康  
正副委員長を除く全議員

### 議会選出監査委員

前川やすえ

### 選挙結果

#### ◆議長選挙

保谷 武（令政クラブ） 12 票  
鈴木 智（共産党） 4 票  
小林 利規（無所属） 1 票  
榎本 和孝（無所属） 1 票

#### ◆副議長選挙

大石 幸一（公明党） 12 票  
山脇 紀子（共産党） 5 票  
鈴木 智（共産党） 1 票

### 議会運営委員会

◎池上 智康 ○鈴木 智  
中野たかゆき 本田てい子  
山脇 紀子 前川やすえ

※委員会の◎印は委員長、○印は副委員長。敬称略。



# 6月定例会

令和3年6月定例会は、6月1日から21日までの会期で開催され、初日に市長から市政の報告が行われました。

3日間にわたって行われた一般質問では、16人の議員が新型コロナウイルス対策などの市政の重要課題を取り上げ、執行部の見解を問いました。

最終日には、請願1件・陳情3件を不採択としたほか、市長提出議案をすべて原案のとおり可決・承認して閉会しました。

## 6月定例会の主な議案の内容

### ◆工事委託協定の締結

南町1丁目と塚越4丁目を結ぶ藤跨線人道橋の修繕について、東日本旅客鉄道株式会社と工事委託協定を締結します。工期は、令和8年3月の完成予定となります。



### ◆新型コロナウイルス対策

#### ○子育て世帯生活支援特別給付金

低所得者の子育て世帯に、子ども1人当たり5万円を給付します。ひとり親世帯分として、児童扶養手当受給者には4月に給付を行い、家計急変者等には申請に基づき給付します。また、ひとり親世帯以外の子育て世帯分として、児童手当受給者で市民税均等割が非課税の方等に給付を行っています。

#### ○生活困窮者自立支援金

総合支援資金（失業などで収入が減少し、生活が困窮する方等への特別貸付）の再貸付が終了し、生活に困窮する世帯等を対象に、単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円（月額）を3か月間支給します。

### ◆市役所新庁舎建設工事

新庁舎建設工事については、32億6040万円で請負契約を締結しました。工事概要は、市庁舎敷地に5階建ての延べ床面積6513.74平方メートルの新庁舎を建設し、令和5年秋季の開庁を予定しています。



新庁舎イメージ（市役所通りからの外観）

## 令和3年6月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	令政クラブ	日本共産党	公明党	日本維新の会・無所属連合	立憲民主党	無所属（小林議員）	無所属（榎本議員）	結果
議請第1号	県内農産物と地域経済、消費者の食を守る条例制定に向け意見書の提出を求める請願書	×	○	×	×	○	×	○	不採択
陳情第1号	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のフィットネスクラブ活用に関する要望書	×	×	×	○	退席	×	○	不採択
陳情第2号	陳情書	×	○	×	×	○	×	○	不採択
陳情第3号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため国と関係機関にむけた意見書採択を求める陳情	×	○	×	×	○	×	○	不採択
議案第35号	蕨市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	蕨市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	蕨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	令和3年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	工事請負契約の締結について（蕨市新庁舎建設工事）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	工事委託協定の締結について（蕨跨線人道橋修繕工事委託）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて（蕨市税条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度蕨市一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度蕨市一般会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第44号	令和3年度蕨市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※陳情第3号については討論が行われました。討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。

## 令和3年7月臨時会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	令政クラブ	日本共産党	公明党	日本維新の会・無所属連合	立憲民主党	無所属（小林議員）	無所属（榎本議員）	結果
議案第45号	蕨市個人情報保護条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	財産の取得について（高規格救急自動車）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	監査委員の選任の同意について	○	○	○	×	○	○	退席	同意

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

6月定例会では15・16・17日の3日間で16人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



## 一般質問

一関和一 議員（立憲民主党）

**頼高市長の独断専行でルート拡充したが、年間6千4百万円もの血税が垂れ流し！**

**議員** コミュニティバスのルート拡充後、令和2年度のコロナ禍における各ルート別の利用状況や総運行経費、市補助金（赤字分）はどのようなか。

**市民生活部長** 利用状況は、西ルート市役所先回り2万9299人、西ルート市民体育館先回りが4万1928人、南ルートが3万5790人、東ルートが3万7494人となっている。総運行経費は7135万2000円で、市補助金額は6410万7000円となっている。

**議員** 各4ルート別の営業係数（100円の営業収入を得るのにどれだけの営業費用を要するかを表す指数）はどうか。また、川口市・戸田市・さいたま市に比べてどうか。

**市民生活部長** 事業全体では985円。ルート別では、西ルート市役所先回りが1154円、西ルート市民体育館回りが885円、南ルートが921円、東ルートが1022円となっている。また、戸田市は488円、川口市が661円、さいたま市が422円となっている。

**学校給食費の公会計化等について**

**議員** 学校給食費の徴収・管理業務を一括して自治体が行う「公会計化」が全国的な広がりを見せているが、今後どのように対応していくのか。

**教育部長** 「公会計化」のメリットは、学校における教職員の負担軽減と管理における透明性の向上などが挙げられる。



いちのせき かずいち

る。一方、デメリットは、収納率の低下に加え、新たに学校給食費を管理する業務システムの構築など、多額の財源確保のほか、徴収事務を主として行う職員の配置が課題である。今後も近隣自治体の動向等を注視しながら、メリット・デメリットを検証し、調査研究していきたい。

**離婚時養育費確保支援事業について**

**議員** 昨今、養育費の不払いが社会問題化する中、離婚時養育費確保支援事業を実施する自治体が増えている。本市でも実施してはどうか。

**健康福祉部長** 離婚時に養育費についての取り決めを行うことは、子どもの健やかな成長のためにも大切なことであり、本市では、法律相談等で養育費の相談を受けた場合、法テラスなどの適切な専門機関を案内している。今後は、導入自治体の状況等も参考に調査研究を進めたい。



# 新型コロナウイルスワクチン接種状況について



迅速なワクチン接種が求められる  
(写真は接種会場の保健センター)

7月中旬に順次発送し、8月頃から接種を進められるものと見込んでいます。15歳以下の方への接種など、不透明な部分が多いため、引き続き情報収集に努め、国の動向の変化に臨機応変に対応したい。また、会場については、大きな会場で集約するのが

効率的なのか、各地域で行うのがいいのか、他市の事例を参考にしながら検討し、安全な接種ということを前提に取り組んでいく。



みわ かずよし

## 入園・入学資金貸付制度・奨学金制度について

**議員** 利用者が少なくなっており、もっと利用しやすい制度にすべきと考えるがどうか。

## 教育部長

昨今、高等学校無償化や日本学生支援機構の給付型奨学金など、就学資金に関する選択肢が多様化しており、生活設計に合う制度を選択しているものと認識している。教育委員会では、就学資金に関する相談実績が年間50件程度あり、その中で生活状況等を丁寧に聞き取りながら、多様化する就学資金を

## 健康福祉部長

60歳から64歳の方の接種券は6月下旬に、60歳未満の方の接種券は7月中旬に順次発送し、8月頃から接種を進められるものと見込んでいます。15歳以下の方への接種など、不透明な部分が多いため、引き続き情報収集に努め、国の動向の変化に臨機応変に対応したい。また、会場については、大きな会場で集約するのが

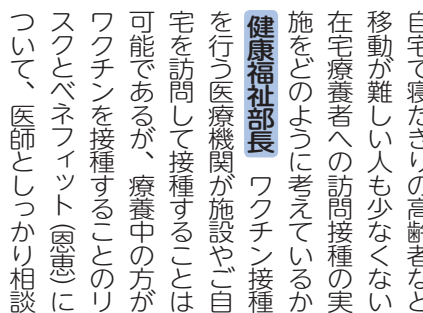
## 健康福祉部長

60歳から64歳の方の接種券は6月下旬に、60歳未満の方の接種券は7月中旬に順次発送し、8月頃から接種を進められるものと見込んでいます。15歳以下の方への接種など、不透明な部分が多いため、引き続き情報収集に努め、国の動向の変化に臨機応変に対応したい。また、会場については、大きな会場で集約するのが

## 健康福祉部長

60歳から64歳の方の接種券は6月下旬に、60歳未満の方の接種券は7月中旬に順次発送し、8月頃から接種を進められるものと見込んでいます。15歳以下の方への接種など、不透明な部分が多いため、引き続き情報収集に努め、国の動向の変化に臨機応変に対応したい。また、会場については、大きな会場で集約するのが

# 誰も置き去りにしないワクチン接種体制の充実を



ワクチン接種会場への移動支援が必要ではなかったか

4月16日、蕨市公明党は、移動が困難な高齢者に対して、接種会場までの送迎を支援する要望書を市長に提出した。移動が困難な高齢者へのタクシー補助券については、本市の見解はどうか。



ワクチン接種会場への移動支援が必要ではなかったか

5 わらび市議会だより No.215

**議員** 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発令される中、高齢者へのワクチン接種を7月末までに完了させるとの政府目標の達成に向けて、接種を迅速に進めることは目下の最重要課題である。7月末日までに、どの程度の高齢者の接種が完了する見込みか。

**健康福祉部長** 高齢者の8割近くが7月末日までに2回の接種を完了できる接種体制を整えている。

**議員** 現在、本格化しているワクチン接種は、対象者が会場まで足を運ぶ必要があるが、自宅で寝たきりの高齢者など、移動が難しい人も少なくない。在宅療養者への訪問接種の実施をどのように考えているか。

**健康福祉部長** ワクチン接種を行う医療機関が施設やご自宅を訪問して接種することは可能であるが、療養中の方がワクチンを接種することのリスクとベネフィット(恩恵)について、医師としっかり相談

**議員** していただきたい。

**議員** 4月16日、蕨市公明党は、移動が困難な高齢者に対して、接種会場までの送迎を支援する要望書を市長に提出した。移動が困難な高齢者へのタクシー補助券については、本市の見解はどうか。

**健康福祉部長** 早期の接種完了に向け、新たに東公民館や市民体育館を会場とした集団接種の実施を決定した。今後は、接種対象が若年層に広がるため、集団接種、個別接種双方の充実を図ることが引き続き大きな課題であると認識している。会場、医療従事者事務従事者の確保に向け、継続して取り組んでいきたい。

**議員** 誰ひとり取り残されることのないよう、引き続き円滑なワクチン接種事業に全力で取り組んでいただきたい。

## 理想の蕨市職員像及びやる気の醸成について

**議員** 理想とする市役所職員像をどう考えるか。

**総務部長** 「蕨市人財育成基本方針」において「蕨市のため、市民のためにみずから考え、持てる知恵と力を発揮できる職員」を目指す職員像としており、「やる気と明るさ」「市民とともに」「経営感覚」「信頼を得る行政のプロ」という4つの切り口から、より具体的な姿を示している。

**議員** 職員のやる気を引き出すために、どのような取り組みを行っているか。

**総務部長** 他団体職員との交流で良い刺激を期待できる派遣研修への積極的な派遣を初め、各業務に対して職員が改善意見等を提案できる職員提案等推進制度や資格取得支援制度などを実施し、さまざまな角度から職員のやる気を引き出す取り組みを行っている。  
**議員** 本市の職員は優秀だと思いが、アイデアに乏しいと感じることがある。アイデアがたくさん出るような風通し

の良い職場をつくり、市民生活の向上を目指して、市民のために精一杯頑張つてほしい。

### 建設用アスベストの健康被害について

**議員** アスベストの健康被害に不安をお持ちの市民の方は、最も身近な行政機関である市役所に相談に応じてもらいたいと思うが、市の対応はどのようなか。

**健康福祉部長** 石綿アスベストによる健康被害については、専門的な知識が必要となり、埼玉県が管轄する保健所の窓口を紹介している。

### 再生可能エネルギー施策推進への取り組みについて

**議員** 民間家屋の屋根等にソーラーパネルと蓄電池を設置することで、被災時には市民の生命と財産を守るために大きな力を発揮すると思われる。今後の施策展開はあるか。

**市民生活部長** 脱炭素社会の構築及びエネルギー施策にお



こばやし りき



屋根の多い蕨市、ソーラーパネルの設置を促進するための施策を

いて、住宅における太陽光発電の重要性はさらに高まることとが予想され、これに合わせ、より効率の高い新たな機器の開発も見込まれることから、今後、本市の補助金制度においても新たな関連機器等への対象拡大について検討を行っていききたい。

**議員** 本市は、住宅が多く屋根が多いまちである。災害時に役立つことを踏まえ、ソーラーパネル設置に対する補助金の増額も検討してほしい。

## 一般質問

## 健康長寿のための歯科健診事業・義務教育現場での歯科健診の重要性、フッ化物洗口の導入を



いまい ようこ

**議員** 口腔の健康を保持することは、生活の質を向上させ、生活習慣病を予防し、健康寿命を伸ばす上で重要である。埼玉県小児う蝕予防対策事業におけるフッ化物（フッ素）洗口の保育園・幼稚園、小・中学校での実施について、本市の考えはどうか。

**健康福祉部長** 埼玉県では、歯科口腔保健推進計画を策定し、幼児期及び学童期のう蝕予防を進めるために、フッ化物洗口による、う蝕予防を実施しようとする施設を対象と

して、器材、薬剤の支援や技術的支援を行うフッ化物洗口事業を行っている。しかし、この事業の県内実施率は少なく、市内の保育園等においても実施している園はない。本市では2歳児フッ化物塗布事業のほか、1歳6カ月児健診の際にも、フッ化物塗布を行っている。保育園等での実施については今後も研究したい。

**教育長** 本市では、学校におけるフッ化物洗口を実施していないが、1人当たりが保有している虫歯、喪失歯、処置歯の本数が令和2年度の平均値で非常に良好な値となっていることから、小・中学校における日常の歯磨き指導及び家庭への啓発が一定以上の効果となつてあらわれており、歯や口の健康を維持することができていると考えている。

来的な歯科医療費の軽減にもつながる。置かれた環境によつて健康格差が広がらないように、予防事業の実施をさらに強くお願いしたい。

**議員** 校則の存在意義は、一般的に、「集団の秩序を守る」「危険を回避する」「平等を守る」「子どもたちの心の揺れを見つめる」この4つがあり、また、校則の内容は、変化する児童の実情や社会常識などを踏まえ、絶えず積極的に見直しが必要と考える。現在までに保護者や生徒から疑問の声はなかったのか。



**議員** 小児期からの歯科疾患の予防を心がけることは、将

これまでで服装や靴等の色や材質に関するもの、学習用具の持ち帰り、衣がえの時期等のご意見をいただいたと聞いている。各学校において検討が必要と思われるものについては、適宜検討し、改定を図つてきている。



## 健康施策への活用を！

### 国民健康保険データヘルス計画の中間評価

**議員** 今回の中間評価において外国人被保険者数との関連性を分析した理由とその結果をどう考えるか。

**市民生活部長** 国保被保険者の外国人比率は、令和2年3月末現在で23%と県内で最も高く、若年層が多い外国人比率が増加すると、前期高齢者割合が低下する傾向がある。外国人を初めとする若年層の増加は、その財源を支える一助になると捉えている。

**議員** 令和元年度における国保全体の1人当たりの医療費は、年間28万5101円と県



おいし けいこ

内で最も低いが、前期高齢者（65歳～74歳）の1人当たりの医療費は52万8997円と県内でも4番目に高い。この数値をどう分析したか。

**市民生活部長** 生活習慣病の医療費が高いのが原因の1つだと考えている。

**議員** 今回の中間評価で糖尿病の有病率が高く、人工透析患者も増えていることがこれまで以上にデータではっきりした。糖尿病は、まずは栄養指導だが、マンパワー不足もあり、市の健康施策の弱点になっている。県内最下位の特定保健指導実施率と合わせて令和5年度末までに、どのように取り組んでいくのか。

**市民生活部長** 今後の特定保健指導の体制を考える中で、栄養指導も含めて検討したい。

**議員** 今年度は第2次後期計画の中間年だが、計画にある市の「防災会議の女性委員割合」

や、モデル事業所としての市役所の「男性の育児休業取得状況」はどのようなか。促進のための今後の取り組みは。

**市民生活部長** 防災会議における女性委員の割合は、4月現在14.7%で目標値の15%に達していないが、役職に限らず、男女共同参画の観点から、引き続き女性委員の積極的な登用を推進する。

**総務部長** 男性職員の育児休業は、令和元年度1名、平成30年度2名。地方公務員の育児休業に関する法律が改正され、国から対応が示されれば、市でも対応していきたい。

**議員** 計画にはない非正規雇用の女性の生活困窮がコロナ禍において課題となってきた。生理用品の配布やフードパントリー事業は担当課だけではなく、計画作成部署はコーディネーターとして協力体制をとり、次回の計画に反映して欲しい。

**市民生活部長** 計画策定で検討すべき課題の1つと捉える。

**議員** 今年度は第2次後期計画の中間年だが、計画にある市の「防災会議の女性委員割合」

## 根本 浩 議員（公明党）

### 蕨市電子商品券支給事業について

**議員** 蕨市電子商品券「織りなすカード」について、残額を非営利活動団体への支援に使用することは可能か。

**市民生活部長** 非営利活動団体の活動資金とすることができると調整している。

**議員** 今回のような金券を市役所の表記がなく、市長個人名の文書だけが入った封書で送られてきたことに、市民の方から違和感があるとの意見が出ている。また、使った場合の行動パターンが追跡されるのではと心配されているが、事業の基本的な考え方は何か。

**市長** コロナ禍において1人3000円という、すべての家計を支援するとともに、市内事業所で使うことで経済対策にもつなげることが事業の目的である。今回、送付する時点では金券ではない状態で送付するので、行政連絡員が配布して経費を削減している。また、市の事業として普及するもので、市長名で出すのは一般的だと考えている。

**議員** 食に関する知識の成果指標の現状及び目標達成への取り組みはどうか。

**市民生活部長** 個人情報がかの目的で利用されないように、情報の取り扱い徹底されている。封筒の表記については、市役所ではなく、「蕨市」という表記をほかの通知においても使用している。

**議員** 配布方法はともかく、本事業を市民一人一人が理解し、成功させていたいただきたい。

**第2次わらび健康アップ計画の進捗について**

**議員** 食に関する知識の成果指標の現状及び目標達成への取り組みはどうか。

**健康福祉部長** 第2次わらび健康アップ計画は、令和4年度までの5年間で計画期間とし、計画終了年度に目標に対する指標を検証する。食に関する知識の成果指標については、食育や食事バランスガイドの内容を知る人の増加などを上げ、具体的な取り組みを行っている。目標達成への改善計画については、食事バランスガイドの理解と実践とし

**議員** 食に関する知識の成果指標の現状及び目標達成への取り組みはどうか。



歴史民俗資料館分館に飾られている渋沢栄一の自筆扁額「進徳脩業」



ねもと ひろし

て、一日に「何を」「どれだけ」食べたらいいか、食事の望ましい組み合わせをイラストで示し、成人栄養相談の食行動アセスメントのための支援ツールとして活用している。

**議員** 歴史民俗資料館分館にある渋沢栄一自筆扁額「進徳脩業」を周知してはどうか。

**教育部長** ホームページで写真を紹介している。解説文の掲載等、内容を充実したい。

## 災害時避難施設でのペット 同行者への対応について

**議員** なぜペット同行避難

が必要かというと、家族同然のペットを救うだけではなく、過去の震災では、いったん避難した飼い主がペットを避難させるため、自宅に戻り災害に巻き込まれた事例があり、同行避難の体制を整えることは、飼い主が躊躇なく避難することにつながり、ひいては住民の安全を確保するというのが本来の目的だからである。本市の避難施設は、すべての施設でペットの受け入れが可能なのか。

**市民生活部長**

原則として動物同伴避難を認めており、災害時には避難場所及び避難所となるすべての施設での受け入れを想定している。

**議員**

ペット同行避難のルールについて、飼い主にはどのような認識してもらおうのか。また、災害時の対応についての防災教育を施す必要があると思うがどう考えるのか。

**市民生活部長**

ペットの防災対策として、日頃から心がけ



埼玉県版「ペット動物のための防災手帳」



おいしい こういち

支援の実施については、その人の特性に応じた配慮が重要となる。とりわけ在留外国人は言語、文化の違いなどから情報が適切に伝わらず、必要な支援、資源にアクセスできない可能性が考えられる。また、一般的に在留外国人は既存の地域コミュニティから孤立しがちな存在であり、災害時の混乱した状況の中では、平時以上に地域コミュニティから孤立する可能性もある。日本語のわかる外国人住民を防災リーダーとして育てることが改善につながるものと考えるが、本市の見解はどうか。

**市民生活部長**

外国人住民が自助、共助の担い手として活躍することは、行政と外国人コミュニティとの情報共有などの面から大変有用であること認識している。市としては、外国人住民にも、わが防災

### 災害時における外国人住民への支援体制について

**議員**

災害時における被災者

の事例等を調査研究したい。

## 一般質問

## 少子化の今こそ青少年スポーツ 団体への手厚い支援を

**議員**

スポーツは、健康寿命の延伸、医療費の削減などにつながるもので、奨励され、行政の様々な支援を受けている。子どもの場合は、更に教育的な効果も期待できる。ところで、少子化に伴い、野球・サッカーといった青少年スポーツ団体は、どこも会員数が減少し、運営難に直面している。会員数が減ったからといって支援の手を緩めずに、少子化の今だからこそ、手厚い支援をお願いしたい。

**市長**

これまでも必要な支援を行ってきたが、青少年のスポーツを支援するという基本的なスタンスを踏まえ、個々具体的な相談、課題については支援していきたい。

**議員**

競技種目や地域によつて差がでないように公平な支

**市民生活部長**

荒川上流河川事務所を中心に広域避難検討会が設置され、広域避難の検討が進め



少子化のため、青少年スポーツ団体は人数が減り運営難

### 大規模水害時における 広域避難の準備を

**議員**

荒川決壊による水害の際は、本市全域が水没することになる。そこで、計画的・集団的に市外の避難所に逃げる広域避難が必要である。受け入れ先の市町村と事前に交渉をしたうえで、綿密な計画を立て、しっかりと訓練する必要があります。広域避難の必要性は3年前の一般質問で主張したが、その後の進捗はどうか。

**市民生活部長**

荒川上流河川事務所を中心に広域避難検討会が設置され、広域避難の検討が進め



ほや たけし

られる。本市の広域避難については、同検討会の取り組み状況を鑑み検討する。

**議員** コロナ禍以降の価値観・社会の変化として、親戚・知り合いの家、旅館・ホテルへの分散避難が呼びかけられるようになった。

・在宅ワークで毎日オフィスに通動しない人が増えた。セカンドハウスを購入して2拠点生活を送る人が増えた。

その結果として、個別に市外への避難を行う家庭が増える予想する。従来は、自然災害の時は「隣近所の人たちはお互いに助け合うもの」「町会を通じて支え合おう」という考え方が一つの常識とされていたのだが、これが変化しつつある。「自助・共助・公助」のうち「共助」の考え方が変化したため「公助」についても従来とは考え方を変えざるを得ないだろう。広域避難の計画を立てて訓練を行うに当たっては、これらの点に注意してほしい。



# ワクチン・検査など 新型コロナウイルス対策の推進を

**議員** 今後も重症患者病床が不足するような流行が懸念される。ワクチン、検査、保障等の総合的な対策が必要。まず64歳以下の接種の時期は。

**健康福祉部長** （65歳以上の接種に続き）今後60〜64歳は6月下旬に接種券を発送、7月中旬以降の接種、60歳未満は7月中旬に接種券を発送予定

**議員** この間のPCR等検査の実績と結果はどうか。

**健康福祉部長** 2〜3月の本市の高齢者施設等従事者への検査は811件で、すべて陰性。濃厚接触者以外の検査では3月末までに35件、医師会



ワクチン接種が進んでいます  
（写真は市民体育館）

のPCRセンターでは本市在住者で577件実施。

**病院事務局長** PCR検査・抗原定量検査で、昨年度は4534件（陽性303件のうち市民182件）、今年度は6月7日現在1204件（同81件・51件）。月別では、1月が最も多く814件、2月477件、3月471件とやや減少し、4月515件、5月579件と増加。6月は7日現在110件とやや減少。

**議員** 変異株の未成年等での感染・クラスターが報じられている。小・中学校、留守家庭児童指導室、保育園の教員・職員へのPCR等検査の実施を要望する。電子商品券支給事業の周知状況は。

**市民生活部長** 市ホームページ、商工会議所、商店街、町会掲示板等で周知している。

**議員** 参加が遅れ不利になる事業者が出ないよう対応をとくことで、感染防止に協力する事業所の中にも補償が受けられない事業所もある。市の



すずき さとし

応援金など検討しないか。

**市民生活部長** 国等の支援金制度の動向、事業者の状況を勘案し検討したい。

**小・中学生オリンピック観戦事業の中止を**

**議員** 世界的パンデミックの中でのオリンピック開催は理屈に合わない。また、小・中学生の観戦事業はリスクが高く、中止すべきではないか。

**教育長** 会場の感染防止策など、不確定要素が現時点でも多く、全チケットをキャンセルし、観戦を取りやめる。

**障がい者入所施設の整備**

**議員** 本市の検討は。

**健康福祉部長** 近隣市や社会福祉法人等との連携を図り、市の支援を研究・検討したい。

**議員** 県内でも施設整備の実績がある。必要性もあり、さらに踏み込んだ検討を要望。

**ほかに** 「防災行政無線の改善」について質問。

# 「織りなすカード」の 懸念払拭のために

**蕨市電子商品券支給事業について**

**議員** 本事業の効果をどのように予測し、目標をどのように設定しているか。

**市民生活部長** 1人3000円の商品券利用分の経済効果や登録店舗の魅力を再発見することなど、消費喚起につながる効果があると考えている。7月から9月までの利用期間内にすべての市民に使ってもらうように周知を図っていく。

**議員** この事業が魅力的になるかどうかは、市内小規模企業者ができるだけ多く参加することに尽きるところ。取り扱い店舗数はどの程度を想定しているのか。また、現時点での取り扱い店舗数はどうか。

**市民生活部長** 大型店等を除く市内400店舗程度を想定し、5月から募集を行っているが、まん延防止等重点措置の実施期間延長により休業している店舗が多く、登録店舗は6月15日時点で185店

舗となっている。重点措置解除後には休業している店舗の参加が見込まれ、引き続き事業の周知を行い、参加店舗のさらなる拡大に努めたい。

**議員** 取り扱い店舗を多くの方に知ってもらうこともこの事業の重要な目的になると思うが、周知方法はどのようか。

**市民生活部長** 市の電子商品券専用ホームページを随時更新するほか、広報蕨7月号においても取り扱い店舗一覧を盛り込む予定である。また、実施に当たり、参加店舗には店頭ポスターやステッカーだけでなく、のぼりも配布し、取り扱い店舗が一目でわかるような対応も行いたい。

**ワラビーのデザインと設定を統一してほしい**

**議員** 市制30周年につくられたワラビーだが、幾度かリニューアルされた結果、キャラクターの設定やデザインに統一性がないものになっている。改めて、統一化を図ったほう



ふるかわ あゆみ

がいいのではないか。

**総務部長** ワラビーは、市制施行30周年記念の際、市のマスコットキャラクターとして誕生し、そのデザインは市制施行50周年のときにリニューアルして現在に至っている。設定やデザインが一定の自由度をもって使われてきていることが長く愛されている面でもあると考えており、キャラクターの設定やデザインの統一化については、今後マスコットキャラクターのあり方を考える際の参考としたい。



ワラビーすべてデザインが異なります

## あつたか市政を問う

## 「駅の無人化みんなにやさしい安全安心なまちづくりに向けJRに駅員配置の要望を

**議員** 蕨市民も多く利用する北戸田駅、戸田駅では日中、改札窓口がカーテンで閉められ、インターホンでの対応となっている。JRの無人化については障がい者団体などから問題だという声が上がっている。また、痴漢などにあつたときに窓口に駆け込んでも駅員はおらず、インターホンを押してもすぐに来ないなど安全面でも問題だ。ケンカや転落もありうる。認識は。

**総務部長** インターホンを通じて対応する形となつてはいるが、後方の事務室等には駅員がいるとのことである。

**議員** 私が問い合わせると、対応までに時間がかかる時間帯があるとのこと。問題だ。JRが進める安全な駅づくりは逆行する。また、JRは駅の運営自体を別会社に委託し始めていて、北戸田・戸田・西川口駅に続いて、2月1日からは蕨駅でも業務委託化され、駅員がJRの職員ではない。問題はないか。

**総務部長** 駅業務に特化した子会社で、お客様への影響はないだろうと聞いている。

**議員** 駅は公共性から固定資産税が安い。安全安心なまちづくりという観点から、県がとりまとめる市町村から鉄道会社への要望に盛り込むなど、駅員の配置を要望すべきだ。

## ワクチン接種券の早期送付を

**議員** 都内の大規模会場で高齢者以外の接種が始まったが、蕨市民も接種券があれば受けられる。本市は未送付であるが対応は。



えのもと かずたか

**健康福祉部長** 希望者には電話で接種券番号をお知らせし、予約を取ってもらう。

**議員** どれだけの市民がそのような対応を知っているか疑問。早期の接種券の送付を。

## 子どもの習い事への補助を

**議員** 「子育てしやすいと思うか」という内閣府の調査では、諸外国と比べて日本はかなり低い数字が出ている。子育てしづらい理由の1位は「塾などの習い事の負担」である。家庭環境の格差が習い事の格差につながる面もある。習い事に助成を行う考えは。

**健康福祉部長** 教育費の負担軽減が少子化対策に有効な可能性がある。近隣の動向等の把握に努め調査研究したい。

**議員** 習い事に助成をしている自治体も出てきている。市の「子育てしやすいまちづくり」という視点からも検討を。  
**ほかに** 「死産・流産を経験された方への支援」を質問。

## 一般質問

## 待機児童ゼロに引き続き「子育てするならわらび」を進めてほしい

**議員** 新年度保育園の入園不承諾者数は、待機児童数は、保育施設の充足状況は。

**健康福祉部長** 不承諾者数は0歳児20人、1歳児33人、2歳児10人、3歳児6人の69人。待機児童はゼロである。充足率は90%。



福祉・児童センター3階に開設したワラボに気軽に子育て相談を

## 精神障がいのある方へも福祉タフシー券の給付を

**議員** 県内での実施状況は。  
**健康福祉部長** 63市町村中37団体。近隣では、さいたま市と川口市が精神保健福祉手帳

1級所持者のみを対象。

**議員** 本市においても実現してほしいと思う。1級のみ支給した場合の試算はどうか。

**健康福祉部長** 精神障がい服薬等の適切な治療を受ければ移動に支障のない方がいる。この制度の趣旨を踏まえ慎重に研究していく。1級所持者60人に対して利用率65%とした場合85万円となる。

**議員** 症状によっては自転車や公共交通機関を使えないときもあることを考慮し、検討してほしい。

## ワンルームマンションの建築規制や管理指導について

**議員** 今後は、市内において狭い土地にワンルームマンションを建てるような事例が多く発生すると思われる。近隣との良好な関係を築くため、都内の多くの区で実施しているワンルームマンションの規制について、市として検討する考えはないか。また、蕨市まちづくり指導要綱の対象とな



やまわき のりこ

らない場合においても、市として指導助言を要望する。

**都市整備部長** 都区部では、近隣関係の維持や良好な居住環境の形成を目的とし、比較的小さい規模のワンルームマンションも指導の対象にしている。本市は都区部ほどの傾向にないが、单身世帯が増加傾向にあることから、その対応について近隣市の動向に注視しながら調査研究したい。

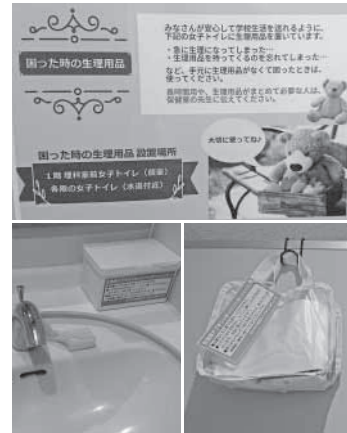
**議員** 管理人のいないワンルーム形式集合住宅のごみ集積所への不法投棄や散乱防止策、清掃についての指導はどのように行われているか。問題がある集積所へ指導の強化をしてほしいと思うがどうか。

**市民生活部長** 新築時に敷地内に管理や清掃が容易なダストボックスを設置することなどを要請している。近隣住民から相談があった場合はその都度、職員が個別に現地を確認し、改善が必要な場合には管理者に連絡をとり、住民に周知するよう指導している。



## 女性の生理への理解 貧困対策・支援拡充を

**議員** 「生理の貧困」への支援に様々な団体が取り組み、47都道府県・170の自治体で学校トイレに生理用品無償配置の要望の声が上がっている。



学校トイレに掲示された案内チラシ(写真上)と無償設置された生理用品(写真下)

埼玉県でも県立学校等のトイレで無償配置が決まった。本市の小・中学校においても学校トイレへの無償配置を行ってほしいが考えはどうか。

**教育部長** 大変重要なことと認識している。学校現場の声を聞きながら検討する（7月から実施）。また、生理の貧困の根本的な解決のため、必要な児童・生徒に支援が行き届くよう関係部署と連携をとりたい（今後は秋頃のアンケート実施により対応を検討）。

**議員** 生理への理解を深める取り組みとして、生理時のプールの授業について、身体への影響等を考える機会をつく

**議員** 加齢性難聴が認知症の重要な危険因子になり得る。

**議員** アンケートやポスター等で周知啓発を要望する。



みやした なみ

認識はどのようか。

**健康福祉部長** 国策定の「新オレンジプラン（認知症推進総合戦略）」に列記されている。

**議員** 本来この制度は、国で実施すべきものだが、都内などでは独自の制度がつくられている。本市でも独自で補助制度の創設をしてほしい。

**健康福祉部長** 国や他団体の動向も含め調査研究する。

## 香害・化学物質過敏症について

**議員** 柔軟剤等の「香料」による「化学物質過敏症」（頭痛や吐き気等）の患者が全国約100万人いると推計される。本市での理解や取り組み、相談はどのようか。

**健康福祉部長** 医学的な診断基準が確立されていない。取り組みや相談はないが、あった場合は症状や内容について傾聴し、必要に応じて専門の機関を紹介する。

**議員** アンケートやポスター等で周知啓発を要望する。

## コロナ以後のまちづくり 生活支援・保障のアウトリーチの推進を

『さよなら私のクラマー』や『観光まちづくり』の観点を取り入れた商工政策を

**議員** コロナ禍において、コロナ後を見据えたまちのにぎわいを創出する取り組み、準備が重要と考える。注目を集めている『さよなら私のクラマー』は、蔵が舞台の地となる漫画・アニメであり、そういった資源を活かしながら、県や県物産観光協会、JRとも連携をとり、まちのにぎわいを創出に結びつけてい

**議員** 柔軟剤等の「香料」による「化学物質過敏症」（頭痛や吐き気等）の患者が全国約100万人いると推計される。本市での理解や取り組み、相談はどのようか。

**健康福祉部長** 医学的な診断基準が確立されていない。取り組みや相談はないが、あった場合は症状や内容について傾聴し、必要に応じて専門の機関を紹介する。

**議員** アンケートやポスター等で周知啓発を要望する。

**議員** アンケートやポスター等で周知啓発を要望する。

こそ、観光協会、まち連と連携して取り組む「観光コンシエルジュ事業（仮）」を展開したい。事業では、観光案内、ロケーションの対応などを通じて、まちのPR、まちの再発見につながり、関係団体とも双方方向でのコミュニケーション頻度が高まるなど、好循環を期待できると考えている。

**議員** 本市の資源をどう活用してほしい。例えば、ぷらっとわらびを広告宣伝として活用し、「クラマー」との連携を追求していただきたい。観光という観点で、ぷらっとわらびの活用をどう考えるか。

**議員** 柔軟剤等の「香料」による「化学物質過敏症」（頭痛や吐き気等）の患者が全国約100万人いると推計される。本市での理解や取り組み、相談はどのようか。

**健康福祉部長** 国や他団体の動向も含め調査研究する。

**議員** 柔軟剤等の「香料」による「化学物質過敏症」（頭痛や吐き気等）の患者が全国約100万人いると推計される。本市での理解や取り組み、相談はどのようか。

**議員** 柔軟剤等の「香料」による「化学物質過敏症」（頭痛や吐き気等）の患者が全国約100万人いると推計される。本市での理解や取り組み、相談はどのようか。



たけした りょう

## 生活保護を含む制度の周知などの工夫を

**議員** 支援が必要であるにもかかわらず届いていない方に対し、積極的に働きかけて情報・支援を届ける観点が大切だ。生活保護では、神奈川県小田原市の生活保護の「しおり」やホームページがわかりやすいものとなっている。本市でも改善していただきたい。

**健康福祉部長** 「しおり」やホームページも含め、わかりやすい工夫に努めていきたい。



生活保護制度に関する一般質問では、神奈川県・小田原市の事例を紹介しながら、質問・要望しました。小田原市では、生活保護制度を説明する「保護のしおり」に加えて、「知っているに役に立つ」という観点で「高校進学の手引き」や「大学・専門学校等のしおり」を作成しています。

## あつたか市政を問う

# コミュニティバス自動運転 実証実験に向けて！

**議員** 自動運転車は、時速50キロメートル未満の走行であれば、あらゆる障害物を検知し、ぶつかりそうになった場合は自動でストップする技術が開発済みとのことである。究極の目標は、交通事故ゼロの社会の実現であり、人口密集地である本市だからこそ、自動運転車を走らせる意義やインパクトは高く、将来的に完全自動化されたコミュニティバスの定期運行の実現に向けて戦略を立てるべきである。有人での実証実験実施の有益性はどのようなか。



人間が運転するよりクルマに運転させたほうが安全で交通事故も減少していく（茨城県境町ホームページより）

**市民生活部長** 全国的には、郊外で直線中心の簡素なルートで実証実験を行うケースが多い。現時点で有人での実証

**議員** 実験は、無人での自立自動運転実現への第1段階として一定の有益性はあると認識する。  
**議員** 自動運転に対する市民への安全性の認知とスマートで先進的なまち、これをアピールするため、将来的には完全に無人での自動運転という目標を見据えて取りかかると考えている。

## 電子商品券「織りなすカード」について

**議員** 本事業の目的や方向性は素晴らしいと思うが、巨額の税金を使用する以上、経済波及効果を最大にするためにもさまざまな工夫が必要である。ホームページの取扱店舗一覧の改善はどうか。  
**市民生活部長** 全店舗を表示させた場合、北町、塚越、南

きだと考えている。

**議員** 民法改正により、成人年齢が18歳に変更となる。2022年4月1日以降、18歳以上を大人とみなすことに問題がないのなら、本市の成年式について、従来どおり20歳を対象とする場合に、その名称使用を継続することへの見解はどうか。  
**教育長** 本市では、昭和21年の第1回開催時から成年式という名称を継続して使用していることに誇りを持っており、若い人たちが、まちを挙げて応援しようという先人たちの思いを大切に、後世に引き継ぐことが重要だと考え、引き続き成年式として実施したい。

## 成人年齢と成年式挙行の関係性は？



なかの たかゆき

## あつたか市政を問う ..... 一般質問

### 9月定例会の日程(予定)

- 9月1日(水) 開 会
- 7日(火) 議案質疑・委員会
- 8日(水) 委員会・分科会
- 9日(木) 委員会・分科会
- 10日(金) 委員会・分科会
- 17日(金) 一般質問
- 21日(火) //
- 22日(水) //
- 24日(金) 委員会
- 28日(火) 閉 会

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

### 広報広聴委員会を開催しました

- 6月3日「議会報告会について」
- 6月17日「9月発行号の概要について」
- 7月28日「委員長の互選について」
- 8月11日「9月発行号の最終確認、議会報告会について」

## 議会中継を実施しています!!

蕨市議会では、インターネットによる本会議の議会中継(ライブ中継・録画放映)を実施しています。市民の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会の傍聴を控えていただくようお願いしております。パソコンやスマートフォンなどいつでも簡単に視聴することができますので、ぜひご覧ください。

インターネット中継・録画放映を含む市議会のくわしい情報は、蕨市議会のホームページをご覧ください。



QRコードを読み取って  
ご覧いただくことができます!

蕨市議会

検索



## 編集後記

次の一歩のために  
今、精一杯できることを

9月、一年の半分以上が過ぎました。新型コロナウイルスは、個人個人が「当たり前」のように過ごしてきた日常や生活を変えさせ、また、それぞれのライフスタイルをも変えさせました。

例えば、子どもたちにとって9月は新学期で、運動会や体育祭に向けて練習が始める頃です。「リレー」の選手になれるかな、ワクワク感であふれたり、悩んだり。そういつた「当たり前」の思いを持ち、距離を気にせず、共有や共感ができました。

現在は、これまでの様々な「当たり前」が喪失するなど、不安が漂っています。

議会では、今年も議会報告会の時期が近づいてきています。今年はどうやって開催するか、広報広聴委員会のみんなが一生懸命知恵を絞ります。今、精一杯の力をこめて取り組み、あの時を思い出しつつ、新たな「当たり前」を見つけていく、そうしたことを通じて、次の一歩を踏み出していければと思います。

## 広報広聴委員会

委員長  
副委員長  
委員

- 古川 奈歩
- 宮下 陽子
- 中野 たかゆき
- 今井 和孝
- 榎本 浩
- 根本 幸一
- 保石 幸一